

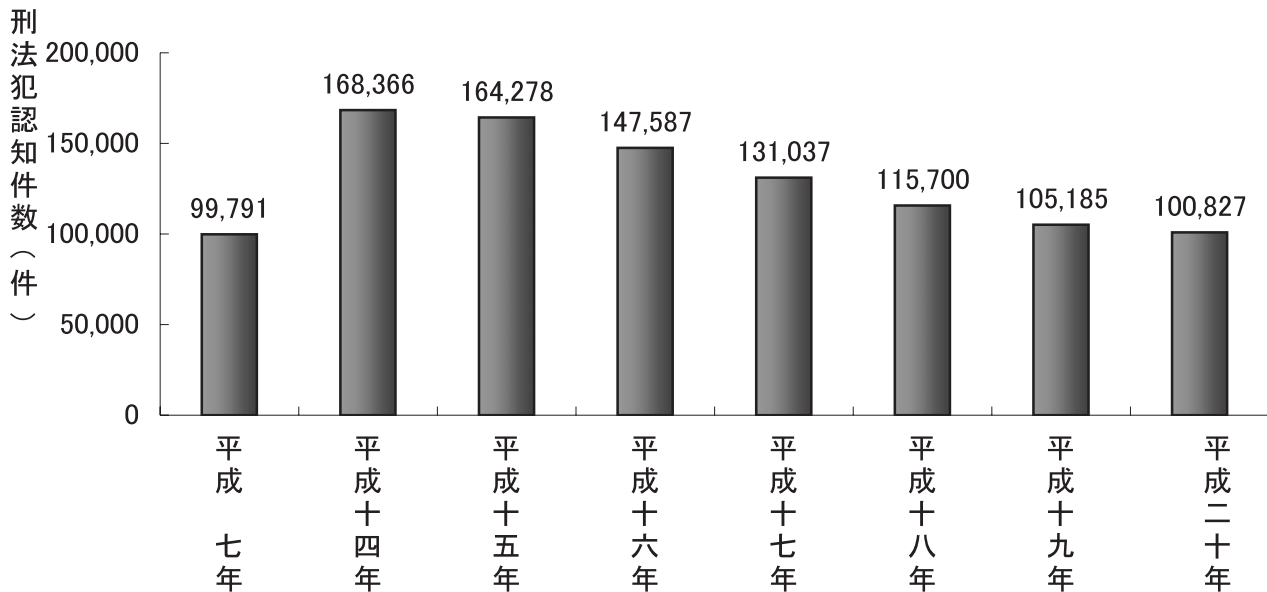
第3 犯罪の状況

犯罪を未然に防止するためには、犯罪の発生状況や傾向などを知ることも重要です。こうした情報をもとに、合同防犯診断を実施していくことは、「まち」を点検したり、防犯上の対策を考える際の視点を強化し、たいへん効果的です。ここでは、千葉県内における刑法犯罪の発生状況について、発生件数の推移や発生場所別、罪種別の状況をまとめました。

3-1 犯罪の発生状況

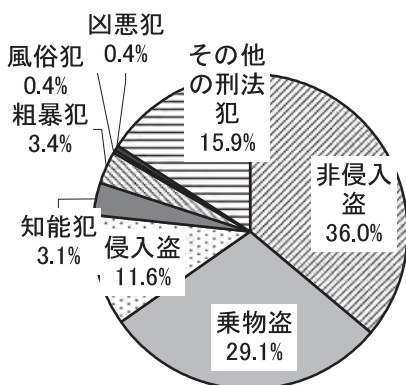
(1) 千葉県の刑法犯認知件数の推移

- 千葉県の刑法犯認知件数は、平成14年をピークに6年連続減少しています。
- しかしながら、未だ年間10万件を超える刑法犯が認知され県民の体感治安は改善されていないにもかかわらず、刑法犯の減少傾向は鈍化し、更なる治安水準の回復に陰りが見られます。
- 平成19年の確定値では、刑法犯の認知件数は105,185件であり、これは1日平均288件、5分毎に1件の犯罪が発生している計算となります。



(2) 千葉県の刑法犯罪種別認知件数の状況（平成19年確定値）

- 平成19年の刑法犯認知件数(確定値)を罪種別に分析すると、「非侵入盗」、「乗物盗」及び「侵入盗」を合わせた窃盗犯が全体の8割近くを占めています。
- 罪種別では、「自転車盗」が前刑法犯の約2割を超えており、次いで「車上ねらい」が1割弱を占めています。
- 「殺人」、「強盗」などの「凶悪犯」、「暴行」、「傷害」などの「粗暴犯」は合わせても4%未満であるが、これらの凶悪な犯罪の発生は県民の治安に対する不安に深刻な影響を与えていると思われます。



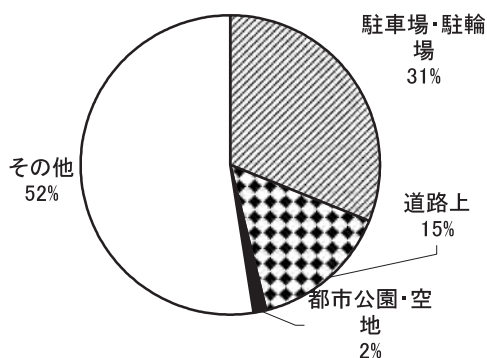
罪種	認知件数	罪種	認知件数	罪種	認知件数		
凶悪犯	殺人	69	ひったくり	2,733	その他の刑法犯	占有離脱物横領	5,303
	強盗	254	すり	367		住居侵入	1,894
	放火	67	置引き	2,516		器物損壊	8,889
	強姦	77	車上ねらい	9,651		その他	613
粗暴犯	暴行	1,313	非侵入盗	部品ねらい	4,399	合計	105,185
	傷害	1,787		自販機ねらい	1,991		
	恐喝	395		万引き	7,747		
	その他	78		その他	8,481		
侵入盗	住宅対象	7,863	知能犯	詐欺	2,865		
	その他	4,364		その他	381		
乗物盗	自動車盗	4,060	風俗犯	強制わいせつ	320		
	オートバイ盗	4,519		公然わいせつ	123		
	自転車盗	22,065		その他	1		

3-2 発生場所別の犯罪の状況 *

* 平成19年刑法犯確定値の分析

(1) 場所別の刑法犯発生件数

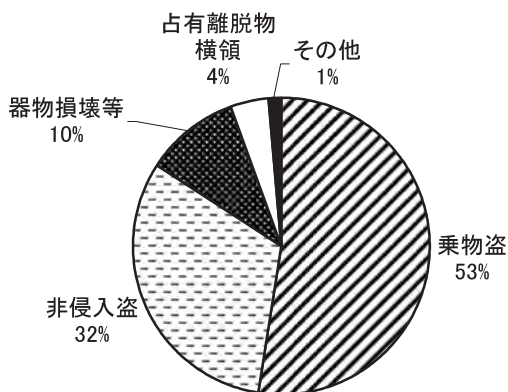
場所別の刑法犯発生件数



- 全刑法犯のうち、約3割が駐車場及び駐輪場で発生しています。
- 次いで、道路上での犯罪発生件数が多く、全体の15パーセントを占めています。
- 都市公園、空地での発生件数は2%です。

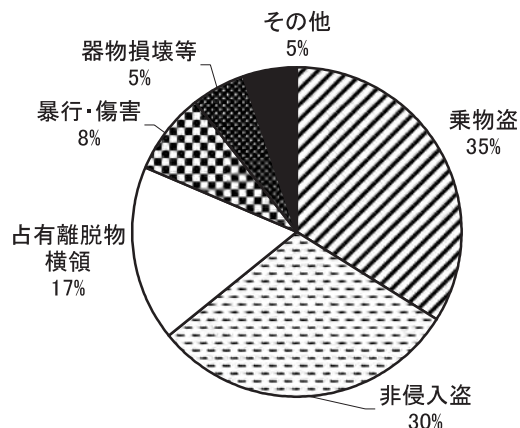
(2) 場所別の発生罪種

駐車場・駐輪場における発生罪種

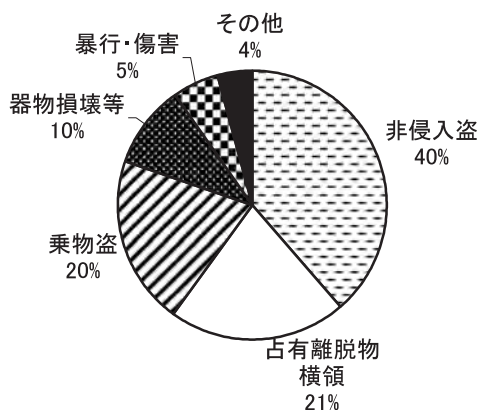


- 道路では、「乗物盗」が35%のほか、「ひったくり」等の「非侵入盗」が30%を占めていますが、「占有離脱物横領」や「暴行・傷害」などの多様な犯罪も発生しています。

道路における発生罪種



都市公園及び空地における発生罪種

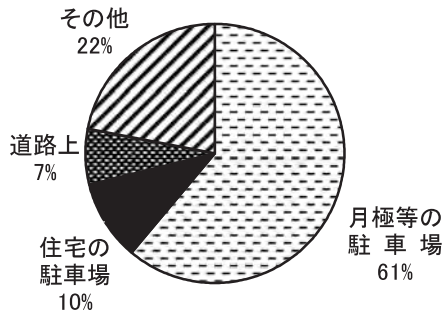


- 都市公園及び空地では、「ひったくり」等の「非侵入盗」が4割を占め、罪種別の発生件数では1位となっています。
- 「占有離脱物横領」が21%と、「乗物盗」の20%を超え、発生件数では2位となっています。

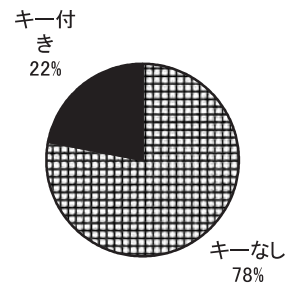
3-3 罪種別犯罪の分析 *
 (1) 自動車盗

*平成19年刑法犯確定値の分析

自動車盗の発生場所



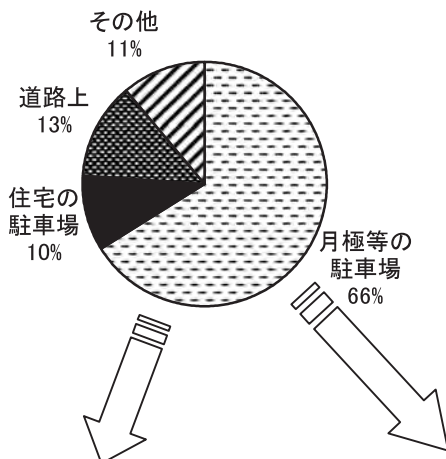
発生時の状態



- 自動車盗の約6割は月極等の駐車場で発生しています。
- 自動車から離れる場合は、キーを抜き施錠することが基本です。
 自動車盗の2割以上は、自動車にキーを付けたまま車から離れた状態で発生しています。

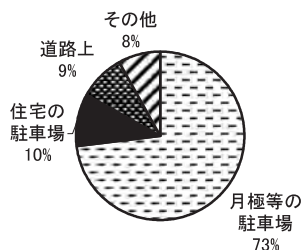
(2) 車上ねらい

車上ねらいの発生場所

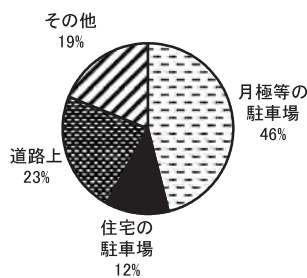


- 車上ねらいの66%は月極等の駐車場で発生しています。
- 自動車を施錠している場合でも、車上ねらいは発生しており、そのうち7割以上が月極等の駐車場です。
- 自動車を施錠していない場合は、月極等の駐車場以外にも、さまざまな場所で車上ねらいが発生しています。

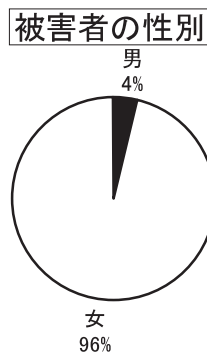
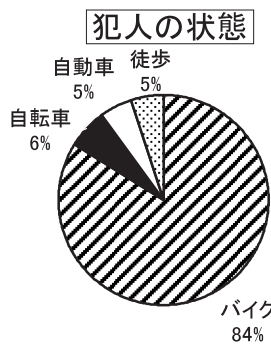
車上ねらい(施錠あり)の発生場所



車上ねらい(施錠なし)の発生場所



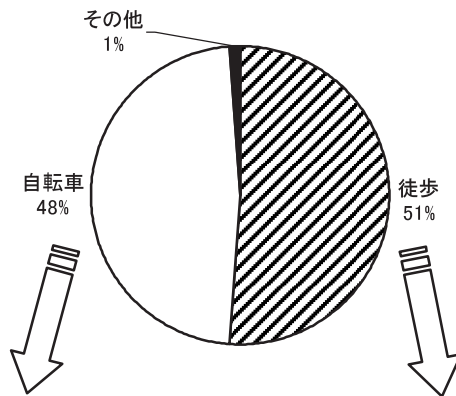
(3) ひったくり



- ひったくりの犯人の84%は、バイクを使用しています。
- 被害者の96%は女性で、狙われやすいので注意が必要です*平成19年の分析

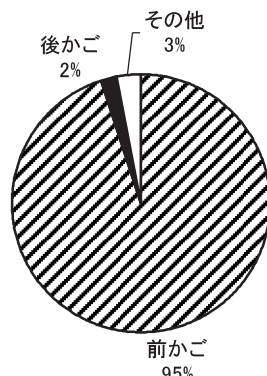
被害者の状態

- 被害者は、自転車と徒歩がほぼ半々です。



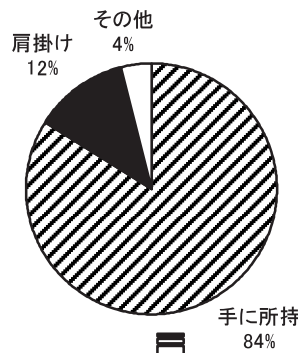
- 徒歩の場合、手に被害品を持っている状態の被害が84%となっています。

被
害
自
転
車
前
か
ご
に
お
け
る
形
態

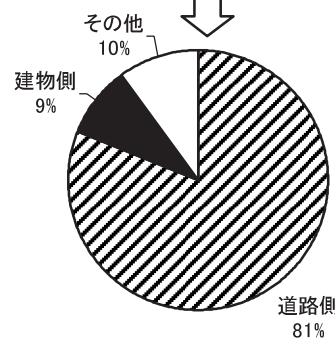


- 自転車の場合、被害のほとんどは、被害品を自転車の前かごに入れている状態で発生しています。

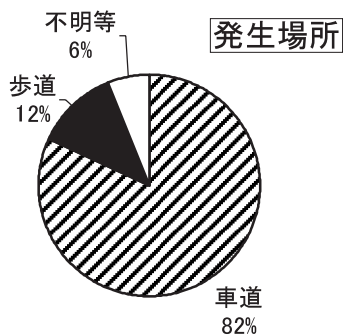
- 持ち物を道路側に持っている場合は、被害に遭いやすくなります。



被
害
自
転
車
前
か
ご
に
お
け
る
形
態

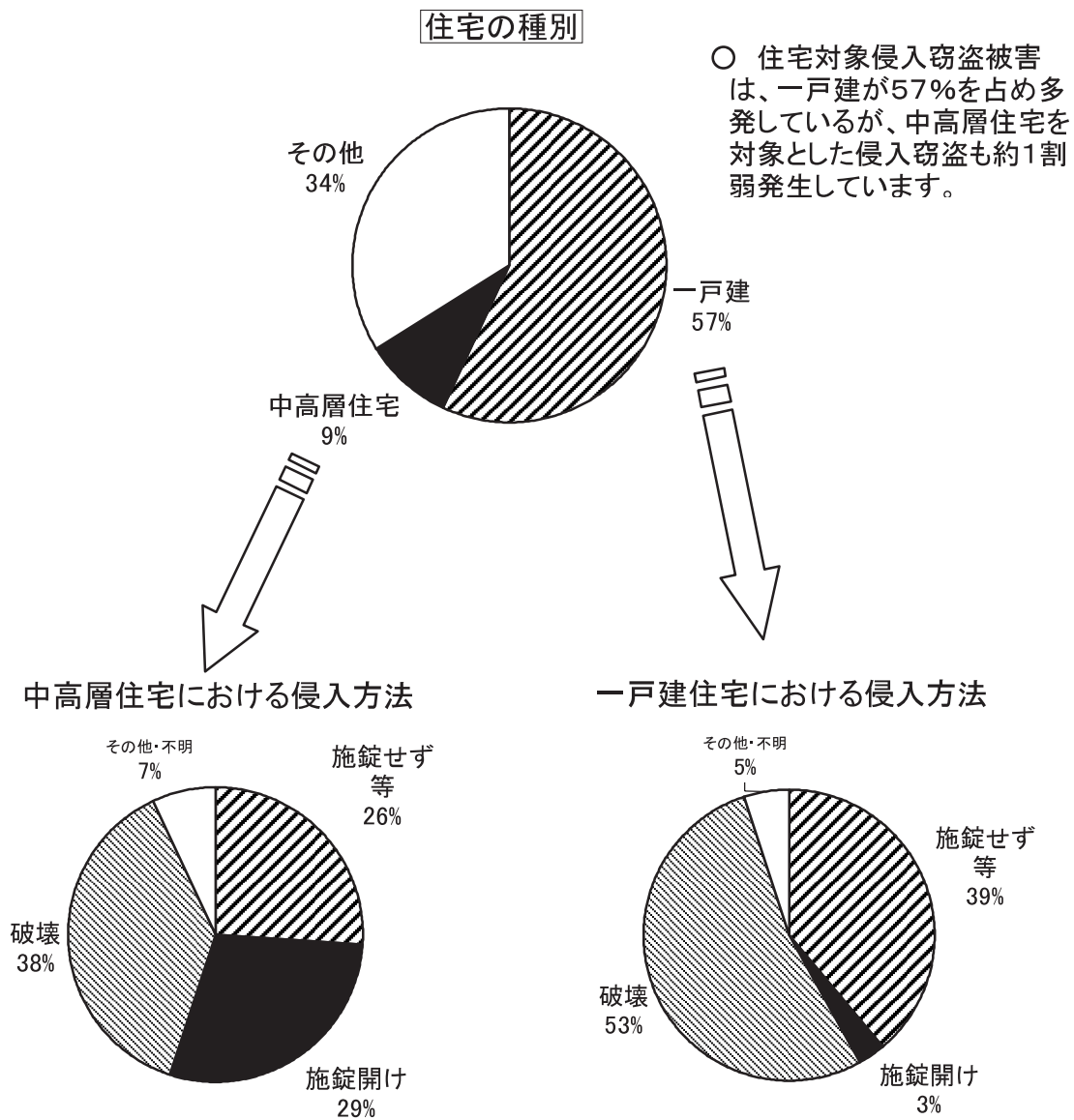


被
害
自
転
車
前
か
ご
に
お
け
る
形
態



- ひったくりは、車道上での発生が8割を超えています。

(4) 住宅対象侵入窃盗



○ 中高層住宅においては、破壊による侵入が4割弱を占めるほか、施錠開けによる侵入が約3割も発生しています。
また、施錠していないものも約4分の1を占めています。

○ 一戸建住宅においては、破壊による侵入が53パーセントと過半数を占めており、施錠開けによる侵入は僅かに3パーセントです。
また、施錠していないものは、約4割にも上っています。